

明治廿七年十月三日 陸軍第十四師直ニ戰鬪詳報

歩兵第二十聯隊第二大隊

0819

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

大正十一年五月

0820

十二月十三日ヨリ翌十四日ニ亘ル戦闘詳報

歩兵第廿二聯隊第二大隊

十二月十三日夜、野津師團長ヨリ大隊ハ明朝湯山城ヲ出發シ
鳳凰城ニ至リテ友安大佐ノ指揮ヲ受クヘシトノ電令到達セリ
十三日午前九時大隊ハ湯山城ヲ出發ス但九連城ヨリ他ノ大隊来
リテ交代スルマテハ水庭軍曹ノ指揮スル一分隊ヲ五龍背ニ留置シ
尉ノ小隊ヲ湯山城ニ林中尉ノ小隊(一分隊々)ヲ高麗門ニ殘シ
各々該地ノ守備ニ任セシメタリ依テ此諸隊ハ十四日ノ戦闘ニ参
與スルヲ得ヤリシ

十三日午後二時頃高麗門ノ西北一里許ノ處ニ於テ鳳凰城ノ方向ニ
砲声ニ發テ聞ク此日強風烈寒加フルニ人馬ノ負擔量頗ル大
ナルヲ以テ行進意ノ如クナラス然レニ鳳凰城ニ近クニ隨ヒ砲声益々
激シキヲ加フ依テ大隊ハ歩度ヲ速メテ進行シ午後四時四十五分

先頭ヲ以テ鳳凰城ノ南門ニ達セリ此地ニ於テ畧々目下ノ戦況ヲ明
カニスルヲ得タルヲ以テ直ニ賽馬集街道ヲ取り前進ヲ繼續シ
薄暮秋陣地(鳳凰城ノ東北約半里)ニ達シ友安大佐ノ命ニ從ヒ
秋陣地ノ中央後賽馬集街道ノ傍ニ露路營ス是ニ於テ各兵
ヲシテ彈藥及携帶口糧ヲ納ル脊負蓑ノミヲ携方、自余ノ荷物
ハ悉皆城内ニ搬送セシメタリ又大行李ハ城内ニ止ラシメタリ
當時ノ戦況左ノ如シ

敵ハ草河ノ左岸ニ展開シ其右翼ハ草河沿ノ西北ニシテ右岸ノ
高地ニ據リ其左翼ハ顧家堡子ノ西南河邊ニ在リ

草河堡子東方ノ松山ニ敵兵火ヲ綴テ火々

秋戦線ハ右岸ノ高地ニ據リ右翼吉林街道ヨリ左翼賽馬
集街道ノ地方ニ涉リ秋砲兵ハ賽馬集街道上峠ノ地方高地
ニ占陣セリ

夜半前ハ諸方向ニ時々銃声ヲ聞ケリ

午後十時半頃友安大佐ヨリ左ノ命令達セリ

命令

一 敵ハ饒河ヲ渡リ我ニ迫ラントスルモノ如シ

ニ 支隊ハ明日敵ヲ攻撃セシトス

三 右縦隊ハ午前五時半迄ニ吉林街道ヨリ饒河ヲ渡リ渡河

点ノ西北方ニ在ル無名山ヲ占領シ我砲兵射撃セバ之ト同時ニ

敵ノ側背ヲ攻撃スヘシ

四 左縦隊ハ午前六時迄ニ賡馬集街道ノ橋梁ヲ渡リ左岸

ノ地物ニ據リ我砲撃ヲ始ルヤ敵ノ前面ヲ攻撃スヘシ

五 騎兵ハ將校ノ指揮スル有力ニ在候ヲ厩裡站ト賡馬集ト

ノ中門ニ在ル道路ト吉林街道饒河右岸ノ東方々向ニ出シ

搜索スヘシ

六 工兵小隊ハ城内ニ在テ本日ノ夜ニ諸衛兵ヲ出スヘシ

七 衛生隊ハ午前五時迄ニ賽馬集街道、山林麓ニ至リ開設

ノ準備ヲ為スヘシ

八 予ハ砲兵陣地ニ在リ

歩兵第十二聯隊長友安大佐

軍隊區分

右綴隊 司令官 岡見少佐

歩兵第一大隊 (第三中隊々)

歩兵第三大隊 (第九中隊々)

傳騎四騎ヲ附ス

左綴隊 司令官 山口少佐

歩兵第十二聯隊ノ第二大隊

傳騎二騎ヲ附ス

守備隊

歩兵第二大隊

騎兵將校存候ノ残余

砲兵隊

命令追加

諸隊ハ明日大行李ヲ以テ一日今ノ糧秣ヲ携行スルノ准
備ヲ為スヘシ

右ノ命令ニ基キ十四日午前四時羊大隊ハ賽馬集街道上ノ峠
ヲ先頭トシ第八第五第六第七中隊ノ順序ヲ以テ整列シ直ニ
第八中隊ヲ前衛トシ牧ヲ啣テ前進セシム行クノ三四百米突ニシ
テ我左側ニ方リ銃声數發ヲ聞ク是レ敵ノ發言我兵我前進ヲ
覺知シ我ヲ射撃スルモノ如シ依テ我兵ヲ戒ガ射撃ヲ以テ之ニ應
スルノナカラシメ陸續前進シ前衛中隊ハ午前五時二十分無事

0825

草河沿西方、假橋ヲ渡過シ橋前地物、蔭ニ開進ス第五第
 六中隊相次テ橋梁ヲ渡リ第五中隊ハ第八中隊ノ左翼ニ第
 第六中隊ハ第五中隊ノ左翼ニ開進シ且最後ニ第七中隊橋梁
 ヲ渡リ第八中隊ノ右翼ニ開進ス時ニ午前五時四十五分ナリ此
 際敵ニ發音ヲ禁シ以テ時機ノ至ルヲ待タシメタリ
 是ヨリ先キ教組、存候ヲ前方及左側方ニ派遣スルモ皆テ敵ニ遭
 遇セズ此内一存候ハ二千米突ノ遠キニ至リ始メテ四五ノ敵兵烽火ノ
 側ニ在テ雜話セルニ遭ヘリ

午前六時二十五分聯隊長ノ命ニ依リ歩兵第十二聯隊ノ第五中
 隊(花坂大尉之ヲ指揮ス)増援トシテ秋大隊ノ開進地ニ来リ依テ先
 ツ右翼後即チ第七中隊ノ背後ニ開進セシメタリ

午前六時三十分秋砲兵射撃ヲ開始シ四五發ニ及テモ敵應射
 セズ

午前六時三十分右翼前ノ高地ニ向ヒ更ニ存候ヲ差遣ス

午前六時四十分大隊長ハ左ノ命ヲ下セリ

大隊ハ前面ノ高地ニ在リ敵ヲ攻撃セシラス

第七第八第五中隊ハ第一線ニ第八中隊基準ナ

第六中隊ハ左翼後ニ梯隊トナリテ前進シ我左側ヲ掩護セヨ

花坂大尉ノ中隊ハ左翼後ニ在テ豫備隊トナレ

前進ノ時期ハ別ニ命ヲ下ス

右ノ命令ヲ下シタル後大隊長ハ花坂大尉ノ中隊ニ先テ戦線ノ左

翼ニ至ル際敵兵突然左斜ノ松林及左翼前ノ高地(後ニ敵ノ砲

兵障地)ヨリ射撃ヲ開ク是ニ於テ彼林ノ全線漸ク開射シ敵兵

逐次前面ノ高地線ニ増加シ来リ戦闘漸ク猛烈トナル時ニ午前六

時五十分ナリシ

午前七時十分草河ノ右岸ニ在リ村落及山腹ニ敵兵現ハレ我戦

線ヲ側射ス依テ花坂大尉ノ中隊ヨリ一部隊ヲ分テ河ヲ渉リ向岸ニ據テ此敵ニ當ラシム此中隊ノ殘余ハ逐次右翼後ヨリ左翼ニ移リテ射撃ヲ開始ス

此時敵ノ砲兵左翼前松山ニ現ハレ我砲兵ト對射ス又右翼前ノ高地ニモ敵兵現ハレ漸次増加ス

又草河ノ右岸我砲兵陣地ノ左翼前ニモ敵兵現出シ平田少佐ノ大隊ト對戦スルモノ如シ

午前七時三十分戰鬪漸ク激烈ナリ又右綴隊ノ方向ニ當リ銃聲漸ク旺ナルヲ聞ク

此時聯隊長ヨリ余アリ前面ノ攻撃ハ右綴隊ノ攻撃進捗スルヲ待テ為スヘシト

午前八時十分ヨリ同三十分ノ間ニ於テ敵勢漸ク衰テ依テ先ツ急射撃ヲ令シ侵撃ノ號音ヲ奏シ之勇氣ヲ鼓舞シテ突進セシム

花坂中隊ハ左翼ニ在テ前進シ且ツ常ニ秋左側ヲ掩護セシム突進
ニ三百米突ニシテ一時戦闘線ヲ停止ス此際右翼前ノ高地森林
端ヨリ敵歩兵六七十名敵砲兵陣地ヨリ十五六名突進ニ逆襲
ヲ試ミタリシモ秋兵射撃ヲ以テ忽チニシテ之ヲ撃退シタリ

午前八時四十五分敵騎百名許秋左側小河ノ右岸ニ顕ハルヲ以テ
花坂中隊ノ二個小隊ハ急射シテ之ヲ退ク

午前八時四十分全線再ヒ前進シ各中隊殆ニト同時敵砲兵
陣地ニ突入シ全ク之ヲ占領シ砲四門ヲ奪ヒタリ時ニ午前九時ナリシ
是ニ於テ賽馬集ノ方向ニ敗走スル敵歩騎兵ニ向テ全線進撃
射撃ヲナシ尚ホ第七及第五中隊ハ右縱隊ニ對シテ敵ノ側面ニ對シ
數回ノ一斉射撃ヲ施シ遂ニ該敵ヲモ撃退セリ

午前九時十分戦闘局ヲ結フ此時聯隊長ヨリ花坂中隊ヲ原
大隊ニ帰還セシムベシトノ命アリ

又第五第六中隊ヲ以テ此地ノ西北高地ニ在ル敵ヲ攻撃スル中隊ト
 カヲ懈セ速ニ之ヲ撃退セシムルヲ命アリ依テ此兩中隊ハ該方向ニ急進
 シ以前ヨリ攻撃シツマリシ第七中隊ノ第六中隊ト共ニ山巔ニ在
 敵ヲ急撃シ又村落溪谷等ニ於テ三々五々踏止リテ我ニ抗スルモノヲ
 或ハ射撃シ或ハ之ヲ捕ヘキ前十時三十分頃敵ノ隻影ヲ見サルニ
 至テ停止ス此方面敵ハ一面山ト齊頭ノ所ヨリ山背ニ登リテ驍騎
 馬集ノ方向ニ退走セリ

第七及第八中隊ハ敵ノ砲兵陣地ヲ巨領ルヤ直ニ驛馬集街道ヲ
 前進シ第七中隊ハ道路ノ左側丘上ニ残留セル敵ヲ攻撃セシモ
 敵兵陸續退却シ終ニ追及スル能ハサシ第八中隊ハ山砲中隊
 ノ護衛トナリテ陸續驛馬集街道ヲ前進シ長岑子ノ西南
 一里許ノ處ニ在ル三軒家ニ至リテ停止ス少時ニシテ他ノ諸中隊モ
 亦来リ合ス時ニ午時ナリシ當夜大隊ハ此三軒家附近ニ警急

倉營ヲ為セリ

捕虜及俘候ノ言ニ依テ之ヲ証スルニ當日秋ニ對向セシ敵ハ黑龍江敵愾軍ニ屬シ依將軍之ヲ率キ其主ナル部ハハ賽馬集ノ方向ニ退走セリ

明治廿七年十二月十八日

歩兵第廿二聯隊第二大隊長山口圭藏

歩兵第廿二聯隊

0831

Table with 10 empty vertical columns.

善
子
彦
二
一
郎
氏

0832